

嵩山少林寺友好訪問

平成15年9月11日から15日

全日本少林拳武徳会は、嵩山少林寺武術館に建立しておりました石碑の完成に伴い、「全日本少林拳武徳会少林寺武術交流団」を組織し、「拳の聖地」である嵩山少林寺への表敬訪問と少林寺武術館に建立した石碑の除幕式のため中国嵩山少林寺の地を訪問いたしました。



鄭州空港での歓迎式典

少林寺表敬訪問

「拳の聖地」である嵩山少林寺を表敬訪問し、少林寺三十代住持釋素喜老師と会談し、老師より歓迎の言葉をいただきました。その後、交流団は少林寺を参詣しました。



少林寺正門



宗家より記念品贈呈



釋素喜老師を囲んで記念撮影

少林寺武術館に石碑建立

少林寺武術館は、少林武術の学校で学んだ拳士たちが武術表演を行い世界に中国武術を広めるために設立された国の施設であります。この武術館の正面入口に、全日本少林拳武徳会の石碑が建立されました。除幕式では、中国側を代表し少林寺武術館館長焦紅波氏から歓迎の挨拶が、日本側を代表し三代宗家森實芳啓より、返礼の挨拶がなされました。その後、双方より友好の証として記念品の交換が行われ、石碑の幕が切って落とされたのであります。



少林寺武術館正面



武術館での歓迎の様子



師範とともに



武術館での表演



石碑全景

石碑には、二代宗家の「心 直ぐなる心」（中国訳：率真正直之心乃武者必備之徳）が刻まれていました。二代宗家が初代末永節先生から受け継がれ四十年にわたって育ててこられた少林拳森實派が、石碑の建立により嵩山少林寺の地に燦然と輝いた瞬間でありました。われわれ武術交流団は、二代宗家の少林拳に対する「心」に触れながら感激の思いでこの石碑を見つめたのであります。この二代宗家の思いを受け継いだ三代宗家のもと、全日本少林拳武徳会のさらなる発展を目指し、一致団結して精進努力してまいります。